

177



大正  
十  
年  
十  
月  
十  
日

作有次史郎画醫新郎

富士公司









177 ~ 1  
雲クモの中ナカから現アキラれた。

正義セイギの神カミ黄金オウゴンバットは

原子ゲンシ黄金オウゴン棒ボウを。折ウチち振フれば、

たちまち解トける。雲クモクラゲの中ナカより、

苦クルしみ乍ナら現アキラれたギンバット。

その後アトより。スーパアマンは、

ギンバットめかけツケて体カラダ当アりせんと。

操ソウ縦ジュウかんを握ニギりしめへ。

せまっつてきた。――







177 ~ 2

キーンンンンンンン

あーっギンバットに撃突した。

と思われた。じゅんかん。

ひらり、マントをひるがえし

体をかわした。ギンバット

ギン生意気なスーパーマン

なんじごときに射ち取られる。

ギンバットさまではないぞ

飛行機は、そのまま、下へ

舞いおりて行く……







その時<sup>トキ</sup>とつじよ<sup>アラフ</sup>現れた

正義<sup>オウ</sup>の味<sup>ゴシ</sup>る黄金<sup>ゴシ</sup>バット

「フワツハツハツハツハツハツハマー

ギンバット<sup>アウ</sup>ト<sup>サタ</sup>鬼の榮<sup>サタ</sup>へたためしは

ないぞー今<sup>イマ</sup>こそ心をあらためて

正<sup>アタ</sup>しき者<sup>モリ</sup>の味<sup>ミカタ</sup>方<sup>カタ</sup>となり<sup>ヒロ</sup>。広く

世<sup>ヨ</sup>のため<sup>ヒト</sup>人のため<sup>ツミ</sup>。罪<sup>ツミ</sup>ほろぼしに

「つくすかよい」

ギ「何を<sup>ナニ</sup>ほざくか黄金<sup>オウ</sup>バット……」

我<sup>ワ</sup>が本<sup>ホ</sup>当<sup>トウ</sup>の力<sup>チカラ</sup>を見<sup>ミ</sup>せるは

これ<sup>コレ</sup>からだ……今<sup>イマ</sup>に泣<sup>ナキ</sup>きつら

見<sup>ミ</sup>せるでないぞ……」







177 ~ 4

マントの下<sup>ヒタ</sup>から取り出<sup>ダ</sup>した。  
クサリガマをば、頭<sup>アタマ</sup>の上<sup>ウエ</sup>で。

ブーンブンブンブン……

風車<sup>カザグルマ</sup>のよう<sup>ニ</sup>に、ふりまわし。

黄金<sup>オウゴン</sup>バットに狙<sup>ネ</sup>ひをつけると

ギ  
「飛<sup>ヒ</sup>ぶぞよ、飛<sup>ヒ</sup>ぶぞ、黄金<sup>オウゴン</sup>バット

たぐいの頭<sup>アタマ</sup>に、ぶんどろか

飛<sup>ヒ</sup>ぶぞーエイーツーー」







177 ~ 5

ビュリン

風を切つて飛ぶ

ふんどうは、い

黄金バットの頭に当るか？

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五

永田為春

電話(三三七)五九一一番







ガチーン……ガラガラガラ……

飛び来たつたる。ぶんどろ。グサリを。

バツシとばかり受け止めたる。

原子黄金棒に。

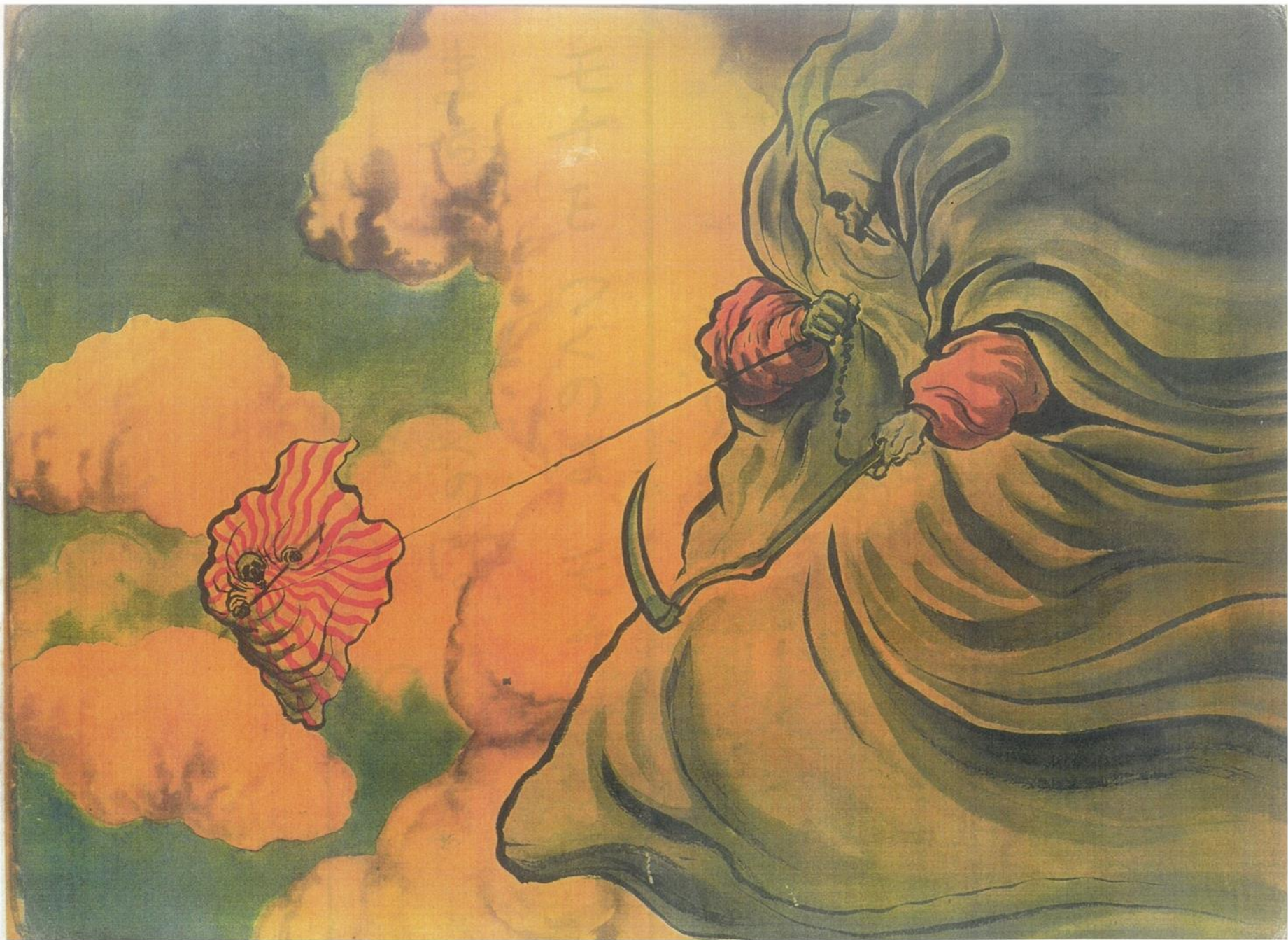
クルクルクルと巻きついた。

見たかギンバツトなんじの投げた

ぶんどろぐサリ……

こ水、このとろり、受け止めたぞ……







177 ~ 7

ギン<sup>ギ</sup>黄金<sup>オウゴン</sup>バット。なんじの黄金<sup>オウゴン</sup>棒<sup>ボウ</sup>に、  
 卷<sup>マ</sup>き付<sup>ツ</sup>いた。ぶんどう。ぐさりは、  
 ただのぶんどう。ぐさりではなぞ。  
 黄金<sup>オウゴン</sup>棒<sup>ボウ</sup>の力<sup>チカラ</sup>は消<sup>キ</sup>えたぞ。ー  
 ーウツツハツハツハツハツア  
 ギンバット。たとえ黄金<sup>オウゴン</sup>棒<sup>ボウ</sup>の  
 力<sup>チカラ</sup>加<sup>カ</sup>消<sup>キ</sup>えるとも。なんじごとき  
 やぶれは。せぬぞ。ー

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五

永田為春

電話(三光)五九一一番

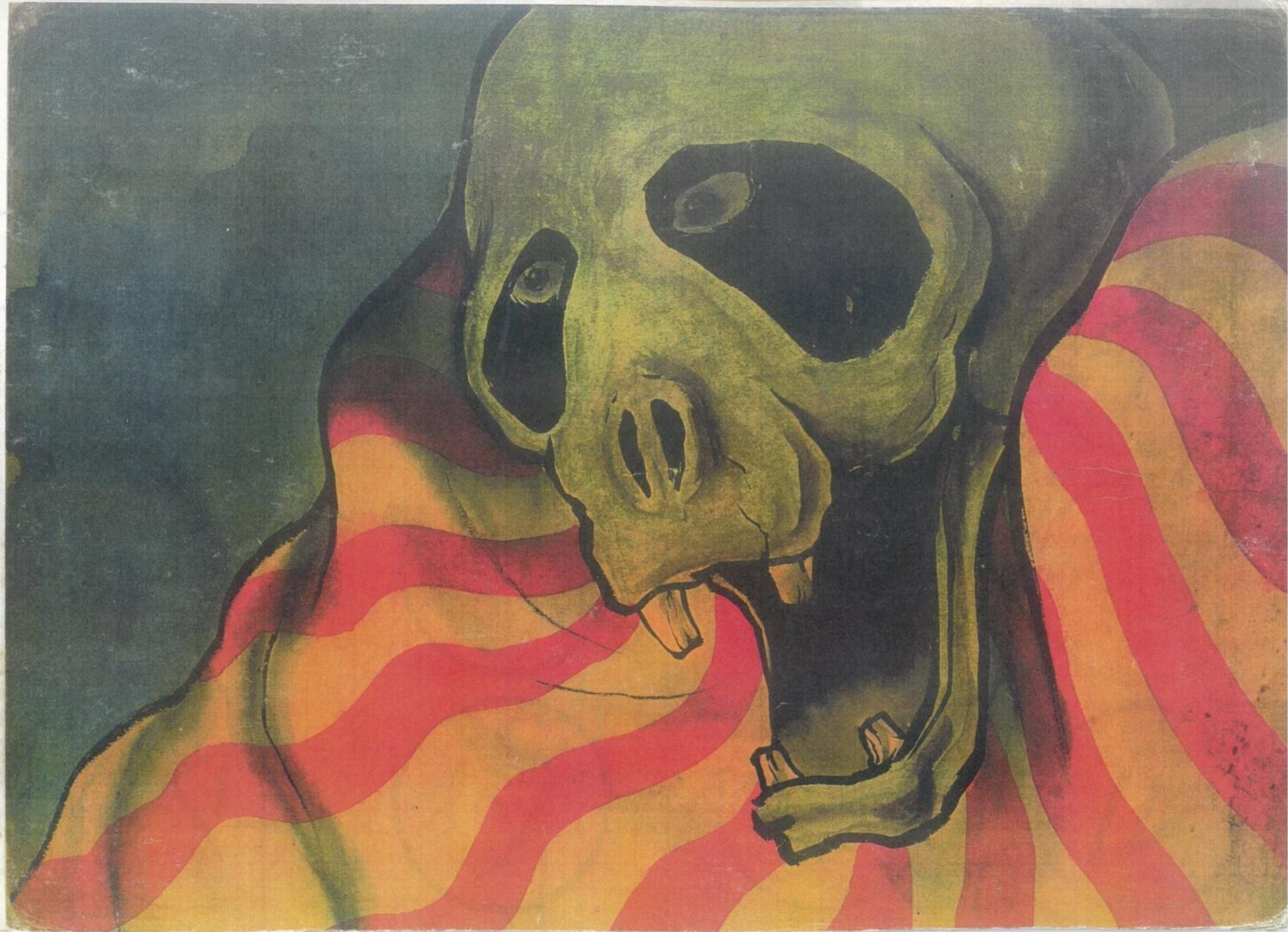
1000

1000

1000

1000







互<sup>ツガ</sup>いに、力<sup>チカラ</sup>をこめて、引<sup>ヒ</sup>き合<sup>ア</sup>う。

今<sup>イマ</sup>鋼<sup>コウ</sup>グサリ、黄金<sup>オウゴン</sup>バットは、

~~今~~ギンバットを、ぐとにらめ付け

ながら、

「ギンバットよよく聞<sup>キ</sup>け一年<sup>イチネン</sup>前<sup>マエ</sup>

お前<sup>マエ</sup>の兄<sup>アエ</sup>ブラックサタンを落<sup>オト</sup>した。

この富<sup>フ</sup>士<sup>ジ</sup>の穴<sup>アナ</sup>にお前<sup>マエ</sup>も必<sup>カナラ</sup>ず

落<sup>オト</sup>としてやるぞ」

さへこのあらそいは、ギンバットが

勝<sup>カシ</sup>つが、黄金<sup>オウゴン</sup>バットが勝<sup>カシ</sup>か、

次<sup>ジ</sup>回<sup>カイ</sup>のおたのしみです。



177 ~ 9

⑨

~~シ~~ シンガールボーイ

ノ 77 完

東京都江戸川 籠 七十五  
永田為春  
電話(美心) 五九一一番